

留学したら？

岡村晃子



知らない国へ行ってみたい、と言つのは誰でも一度は思うことではないでしょうか。ただそれに伴う経済的、精神的負担を考えると思いとどまるケースも多いかもしれません。今は昔に比べると円が強くなり、外国の様子も色々わかり、日本の外へ出るのが比較的簡単になりました。誰もが留学することが可能な状況にあります。またワーキングホリデービザなるものもあって国によっては働きながらその国の様子を知ることができるようになりました。

留学する人の数が増えると、留学に成功する人だけでなく失敗する人もたくさん出てきます。失敗には色々な意味があると思いますが、ここでは時間の使い方が悪く留学の目的が達せなかったということについて述べたいと思います。この文章を読んでいる方は多分多少なりとも留学に興味のある方だと思うので、失敗のない留学へ少しでも役に立てたらと思って書きました。

1 目的を持つよう。

留学についてまず決めるべきことは何を勉強するかということでしょうか。具体的であればあるほど成功の確率は高くなります。ただぼんやりと英語を勉強しにでは少々危険です。英語を使って何をしたいのかまで考えられれば有望です。勿論英語を学びにアメリカやイギリスに行く学生はたくさんいます。ただそれが最終の目標だと実際に仕事のレベルでは役に立つ英語は学べないような気がします。

英語の習得はコンピューターの使い方の習得とも似ています。コンピューターはそれを使って何かをしなければいけないものがあるとき、あるいは、はつきりとした目的があるとき使い方が頭に入ると思いませんか。ただ漠然とコンピューター

2 ひとりの時間を持つよう。

が使いたいと思ってマニュアルを読んでいても頭に入りません。英語もこれと同じです。アメリカ力に行つたからと言って、英語を使う目的と理由が明確でない限り頭には入らないのです。

外国に行く全てが珍しく色々なことがしたくなりませす。また現地の人と知り合いになるために色々なところへ出かけたくくなります。アルバイトをしたくなる人もいます。勉強の気晴らしの意味で色々とするのは最高ですが、勉強がおまけになつてはまずいですね。もし大学で学位を取るために勉強するつもりなら、趣味の手を広げすぎるのは少し危険です。図書館にこもって勉強せよとは言いませんが、孤独に耐えるというストイックな気持ちをごこかに持っている必要があると思います。

3 違いは違いと理解しよう。

日本を離れて生活すると色々なことが目に付きます。この場合、必要以上に日本を美化するこ

4 最後に

ワーキングホリデービザを使って外国で働きながらその国を見たいと思っている人もいると思います。これは色々な国の学生がしている若いときだけの特権だと思います。ただ気をつけて欲しいことが一つあります。それは、特別な技能も持たずに働く場合、安い給料できつい仕事（いわゆる3K）をやる可能性が高く、周りで仕事をしている人も同じような若い外国人ということです。つまり、英語を勉強する環境ではないかもしれません。このような状況で習得した英語はブローカーな外国人の英語です。ですから短期的には良い経験かもしれませんが、長期的にはあまり進められないのではと思います。

その反対に妙に日本に批判的になるのも危険です。例えば、ごみを分別しないイギリス、アメリカの一部を見るとなんと環境に無神経なと批判的になります。でもそれだけではないはず。アメリカでもイギリスでもデパートでそれなりの値段のものを買っても日本のスーパーマーケットのような袋に入れてくれるだけです。日本の包装は過剰過ぎないかと今度は日本に批判的になります。

しかし一歩離れてみると別の面が見えてきます。包装過剰はありますが、アメリカでも包装用紙は売っているのです。無駄と言う点では多分別の面で無駄をしているのだと思います。批判も大切ですが、その国の良さも見てください。プラスの思考をしてください。多分それがその国の人と知り合いになるきっかけになるのではないのでしょうか。

以上私の限られた経験に基づいて書いてみました。皆さんの留学が実りの多いものになることを祈っています。

AKIKO OKAMURA

経済学部助教授。

1999年より高崎経済大学で英語を担当。それ以前は、1991年から1999年まで英国ニューカッスル大学で日本語専任講師。2000年にニューカッスル大学より応用言語学で博士号（Ph.D.）取得。主な専門分野は社会言語学、語用論。

